

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム本明の家

## 目標達成計画

作成日: 令和 2年 12月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	独居や病院生活が長い入居者については、これまでの生活歴を把握している周囲の人がおらず、また、入居者本人も認知症があるため生活歴や意向の把握が難しい。	これまでの生活状況を踏まえた支援や入居者本人の意向を汲み取り、その人らしい生活をしてもらう。	入居者が発する何気ない会話や表情の変化などの気づきを記録に残し、定期的に振り返る。入居当初の作成するフェイスシートに新たな気づきを加え、職員が共通認識できるようにする。	6ヶ月
2	35	年2回の避難訓練を実施しており、夜間を想定した訓練も行っているが、時間帯を想定しては行っていない。また、訓練後に改善点などを話し合うものの、記録として整備しておらず、次回の訓練時に改善できているか確認ができない状態であった。	夜間想定避難訓練においては、深夜や早朝など、一定の時間帯を想定して訓練を行う。また、訓練実施後に改善事項などを記録し、次の訓練に活かす。	消防署に訓練等指導依頼書を提出する際に、想定する時間帯も記載し提出する。また、職員も該当の時間帯を想定した上で訓練を行う。記録については、訓練の様子の写真だけでなく、消防署からの総評や職員の意見なども記録として残し、次回訓練に活かせるようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。